

リウマチ外来におかかりの患者さんへ

2020/04/01

- ✓ 日本内科学会および日本リウマチ学会による専門医教育プログラムの変更のため、本年度から新たに上都賀総合病院内科・リウマチ膠原病科に4名の医師が赴任します。
- ✓ これにともない、花岡が外来業務と病棟業務の両者をバランスよく指導するため、火曜日と金曜日に花岡が担当していた外来枠を、本年度は朝鳥・檜山・三崎・近藤が担当します。
- ✓ また、萩野谷が1年間産休・育休に入るため、水曜日と木曜日に萩野谷が担当していた外来枠を、本年度は小泉・入口・朝鳥・和田が担当します。
- ✓ 入院中、花岡がすべての患者さんの回診を週2回行います。
- ✓ すべての外来患者さんの診療の質が保たれるように、診療前にすべての外来患者さんの治療方針についてカンファレンスを行います。
- ✓ 整形外科などで入院する際、内科の担当医も診療に加わります。

メリット

担当医師が増えるため、外来待ち時間がある程度短縮することが期待されます。

異なる医師の目が入るため、治療方針がより良い方向に見直される可能性があります。

入院した場合の診療の質が大幅に向上する可能性があります。

デメリットとその対策

医師が変更になることに不安を覚える患者さんが多いと思います。不安を最小限にするため、治療方針に疑問がある場合には看護師に伝えてください。しばらくお待たせするかも知れませんが、花岡部長が時間を確保して再度診察します。

ご心配をおかけしますが、全体としてはこれまでよりも診療の質が向上することを保証しますので、なにとぞご理解お願いいたします。

リウマチ膠原病内科部長

花岡亮輔